

## 議事 ①

### 平成28年度事業報告

#### 事業の成果

平成28年度の正会員数は 428人、特別賛助会員数は 67人、賛助会員数は 100人でした。以下の方針に基づき事業を実施しました。

[平成28年度事業実施の方針]

“いつまでもきらりびと”

市民が安心して過ごせる地域社会を実現するために、利用する側の視点に立った総合的な地域福祉サービス活動を行い、もって住民の福祉及び保健の増進に寄与し、地域づくり、人づくりに努める。

#### 1 地域福祉サービス提供事業

##### ① 助け合い事業・福祉有償運送事業(移送サービス)

助け合い活動は2,791件、延べ 3,462 時間のサービス提供となりました。

活動内容別件数の前年度比では、家事援助が 116.2%、介助・介護・育児支援が 86.3%、となりました。公的制度によるサービスの隙間を埋める「助け合い活動」の重要性は高く、本法人の中核的活動と捉えて、町民の皆様に周知されるよう活動を進めています。

福祉有償運送の利用者は介護保険認定者及び障がい者等に限定されたサービスで、平成18年自家用旅客運送登録。利用目的は、通院、買い物、社会参加活動等、多様であり利用は定着しています。延べ3,194件、19,955kmの利用となり、件数で前年度比 95%となっています。運転協力者の増加が必要となっています。

##### ② 認知症予防活動（ふれあい共想法）

この活動(ふれあい共想法)は、NPO法人ほのぼのの研究所と協定を結び6年目になります。研究員を派遣するとともに、きらり姫宮においてPC教室を実施、3つのチームで共想法を展開しています。研究所の代表であり開発者の大竹美保子氏は、29年度千葉大学から理化学研究所に移籍されますが、協力して認知症予防とふれあい社会づくりを目指しました。

##### ③ ふれあい活動

住み易い地域を作るため「住民相互の交流を実現し、引きこもりを防止」する場を提供しようとする活動です。平成19年に「きらり姫宮」にふれあいサロンを開設し地域への開放を行って来ましたが、24年度から町内展開へと拡大し、道仏集会所・須賀集会所及び百間集会所・姫宮集会所を会場に理事が中心となって、周辺の会員による協力で月1回の開催を実現。会員ばかりではなく地域の皆さんにも参加を呼びかけ、交流と引きこもりの防止に寄与しています。

27・28年度と地域懇談会において、町内10カ所のサロン主催のみなさんとの交流を図り、今後の活性化を目指しました。

##### ④ 評議員の活動

きらりびと通信の発行月に評議員会を開催し、会員の意見や要望を基にした協議を行い、会の運営に反映しています。

##### ⑤ きらり姫宮そばまつり

四回目となったそばまつり、川端地区の住民グループ「柚子の会」と「新しい村そば道場OB」の皆さんのご協力により、きらり姫宮の駐車場において宮代産新そばの手打ちそばを食べる、そばまつりを開催しました。会員やご近所のみなさんにも食べて頂き360食のてんぷらそばを堪能しました。

## 2 意識啓発事業（研修事業）

### ① 一般公開企画

地区懇談会の開催 「地域の福祉をみんなで考える地区懇談会」

前年に引き続き今回のテーマも、各地で取り組みが広まっている「地域サロン」。きらりびとみやしろでもNPO活動の一環として5カ所のサロンを開いています。今後の展開を考えることから町や社協、高齢者事業団やさわやかクラブなど関係団体、さらに介護者サロンや進修館にも声をかけ、町内10団体のサロン主催者のみなさんに集まって頂き、交流する会としました。

### ② バザーの実施

「町民まつり」・「きらり姫宮そばまつり」に参加、活動の意義を広めると共に資金の確保に努めました。売り上げ 127,100円は、NPO活動の原資と致しました。

### ③ 広報活動

(1) 「きらりびと通信」の発行は年3回発行し、会員及び関係団体等へ配布しました。

読みやすい紙面、わかりやすい表現を工夫し、複雑な介護保険制度の見直しや介護の話題、本法人の各種活動など多様な情報発信を図ってきました。

(2) 「ホームページ」理事長のつぶやきコーナーは、きらり姫宮その他の日常の出来事をお知らせしています。

(3) 12月発行の、パルシステム生活協同組合連合会の情報誌「のんびる」1月新年号に、きらりびとみやしろの助け合い活動が掲載されました。

## 3 受託事業

### ① 福祉交流センター「陽だまりサロン」の運営

「陽だまりサロン」の指定管理者として、16年間の実績を元に事業の充実を図りました。

平成28年度は新たに「飛び出す陽だまりサロン」として、山崎山環境保全活動代表者の八木橋孝雄氏の協力をいただき、山崎山や新しい村を歩いて感じる自然環境をテーマとした講座を開設しています。介護保険の見直しからサロンの必要性が全国的に認知され、県内では毎日開かれているサロンは陽だまりサロンのみということもあって、視察が多く来ています。

本年度利用者は8,586人で、前年度8,606人に対し、利用率 99.7%になりました。

### ② 日本工業大学派遣事業

生活環境デザイン学科授業「生活環境実験演習」において、介護模擬実践指導および介護空間のあり方についてのディスカッションにグループホームの職員を派遣しました。さらに、施設体験実習生として11名、ケア空間体験実習生として3名の学生を、きらり姫宮に受け入れています。

## 4 介護保険法等による事業

高齢者や障がい者および家族をより豊かに支えたいとの想いを大切にし、NPOならではのきめ細かいサービス提供に努めましたが、介護保険報酬の減額改定が響き経営が厳しくなっています。

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| ① 居宅介護支援事業       | 居宅介護支援延べ583件(前年度563件)   |
| ② 訪問介護事業         | 訪問介護延べ383件(前年度424件)     |
| ③ 通所介護事業         | 通所介護延べ1,804名(前年度1,695名) |
| ④ 認知症対応型共同生活介護事業 | 共同生活介護延べ212名(前年度215名)   |

\* 介護事業所「きらり姫宮」の環境を良くするため、「きらりお花クラブ」「お花の会」「施設管理チーム」などのボランティアの皆さんが活躍しています。介護サービスの現場でも、見守りや話相手の「きらりサポート」のボランティアさんにお世話になりました。

## 5 子育て支援事業

子育て支援事業として、1歳から小学生までの一時保育事業「キッズルームきらり」は、登録者237名、年間利用者は延べ59名となっています。

休日や時間外、障がい児の受入れなど公的サービスではまかなえないニーズにきめ細かく対応し、大変喜ばれています。

### ① 町一時保育事業

本年度の実施は4件、保育を利用した方は延べ6名でした。図書館とも利用契約を結び実施しています。

### ② 宮代町障がい児(者)生活サポート事業

在宅の心身障がい児(者)の地域生活を支援するため、一時預かり事業を宮代町に登録し、生活サポート事業を実施しました。平成28年度の登録者は1名で、保育を利用されました。

## 6 女性のためのグループリビング（共生型すまいに関する事業）

独居女性が安心して生活できる住まいとして開設しました。

自由で個人生活が守られる住まいとして2人の方が利用されています。

運営上、利用者の拡大が急務です。

## 7 その他の事業

平成27年10月に、寄付金への税額控除が受けられる認定NPO法人の仮認定を受けましたが、平成29年3月には埼玉県の指定NPO法人になりました。きらりびとみやしろへのご寄付は、寄付金控除として「所得控除」か「税額控除」のどちらかで税の控除が受けられます。宮代町では第1号の指定となります。

平成29年度はより大きな控除に広がる本認定を目指します。